



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ 上場取引所 東
 コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 一昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏 (TEL) 03-4218-0096
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,867	△17.1	△61	—	△4	—	△21	—
2022年3月期第1四半期	7,078	—	△29	—	31	△67.5	3	△93.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 60百万円(△42.6%) 2022年3月期第1四半期 105百万円(80.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△7.51	—
2022年3月期第1四半期	1.33	—

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しております。2022年3月期第1四半期実績は当該会計基準を適用した後の数値となっており、「売上高」の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,329	9,330	43.7
2022年3月期	24,256	9,341	38.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,330百万円 2022年3月期 9,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,581	11.6	294	△20.8	413	△24.7	265	△12.1	93.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	2,880,000株	2022年3月期	2,880,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	32,810株	2022年3月期	32,810株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	2,847,190株	2022年3月期1Q	2,839,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、人流や消費動向にも持ち直しが見られましたが、急速な円安の影響や原材料等の価格上昇傾向もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、主要顧客である鉄道事業者において、需要回復を背景に業績は増収増益を示し、堅調に推移しました。

そのような状況のもと当社グループは、2022年度を2年目とする「中期経営計画」を掲げており、基本目標である(1)ポストコロナ向け、安定成長軌道への回帰、(2)事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出、(3)2024年3月期ROE 5%、これらの達成に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、鉄道事業者からの設備投資や維持・保守に関わる当社グループの受注が低迷したことを受けて、売上高は5,867百万円(前年同四半期比17.1%減)、営業損失は61百万円(前年同四半期は29百万円の損失)、経常損失は4百万円(前年同四半期は31百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は21百万円(前年同四半期は3百万円の利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績は増収増益を示しているものの、設備投資や維持・保守に関わる当社グループの受注が低迷したことにより、売上高は低調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,064百万円(前年同四半期比20.7%減)、営業損失は27百万円(前年同四半期は22百万円の利益)となりました。

(一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。一部の販売先・業界で生産や業績の回復が見られ、当社グループにおいてもコネクタや電子部品等の受注が増加したことにより、売上高は堅調に推移しました。

その結果、売上高は802百万円(前年同四半期比16.4%増)、営業損失は34百万円(前年同四半期は52百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は21,329百万円で、前連結会計年度末に比べ2,926百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(6,743百万円から8,251百万円へ1,507百万円増)、商品(2,530百万円から2,665百万円へ134百万円増)が増加した一方、受取手形及び売掛金(6,339百万円から3,897百万円へ2,442百万円減)、営業未収入金(1,247百万円から110百万円へ1,136百万円減)、有価証券(2,500百万円から1,500百万円へ1,000百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は11,999百万円で、前連結会計年度末に比べ2,915百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金(10,365百万円から8,793百万円へ1,571百万円減)、営業未払金(1,480百万円から192百万円へ1,288百万円減)、賞与引当金(247百万円から122百万円へ124百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,330百万円で、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しております。主な要因は、為替換算調整勘定(154百万円から249百万円へ94百万円増)が増加した一方、利益剰余金(8,031百万円から7,939百万円へ92百万円減)、その他有価証券評価差額金(347百万円から334百万円へ12百万円減)が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,743,834	8,251,655
受取手形及び売掛金	6,339,910	3,897,011
営業未収入金	1,247,418	110,941
電子記録債権	1,650,644	1,658,437
有価証券	2,500,000	1,500,000
商品	2,530,637	2,665,191
その他	162,761	198,152
流動資産合計	21,175,205	18,281,390
固定資産		
有形固定資産	54,520	54,940
無形固定資産	158,738	139,165
投資その他の資産		
投資有価証券	1,638,263	1,629,334
繰延税金資産	194,417	192,579
その他	1,038,470	1,035,616
貸倒引当金	△3,150	△3,150
投資その他の資産合計	2,868,001	2,854,380
固定資産合計	3,081,259	3,048,486
資産合計	24,256,465	21,329,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,365,377	8,793,850
営業未払金	1,480,797	192,072
電子記録債務	750,134	734,193
未払法人税等	90,006	881
契約負債	656,745	787,963
賞与引当金	247,507	122,650
その他	225,730	251,443
流動負債合計	13,816,298	10,883,054
固定負債		
繰延税金負債	172,027	178,606
退職給付に係る負債	721,415	731,737
役員退職慰労引当金	147,226	147,351
資産除去債務	39,986	40,059
その他	18,049	18,460
固定負債合計	1,098,704	1,116,213
負債合計	14,915,003	11,999,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	714,366	714,366
利益剰余金	8,031,599	7,939,042
自己株式	△6,901	△6,901
株主資本合計	8,838,964	8,746,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347,635	334,729
為替換算調整勘定	154,863	249,472
その他の包括利益累計額合計	502,498	584,202
純資産合計	9,341,462	9,330,609
負債純資産合計	24,256,465	21,329,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,078,768	5,867,565
売上原価	6,262,187	5,038,544
売上総利益	816,580	829,021
販売費及び一般管理費	845,923	890,911
営業損失(△)	△29,343	△61,890
営業外収益		
受取利息	2,985	2,768
受取配当金	16,596	18,217
持分法による投資利益	17	1,808
賃貸料収入	14,655	15,343
受取出向料	22,323	19,472
補助金収入	5,784	4,669
その他	6,761	6,620
営業外収益合計	69,124	68,900
営業外費用		
支払利息	19	12
賃貸原価	3,298	4,807
為替差損	4,975	6,018
その他	—	499
営業外費用合計	8,293	11,338
経常利益又は経常損失(△)	31,488	△4,328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	31,488	△4,328
法人税、住民税及び事業税	1,129	1,808
法人税等調整額	26,568	15,240
法人税等合計	27,698	17,049
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,789	△21,377
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,789	△21,377

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,789	△21,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,119	△12,905
為替換算調整勘定	111,415	94,609
その他の包括利益合計	101,295	81,704
四半期包括利益	105,085	60,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,085	60,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,389,023	689,745	7,078,768	—	7,078,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,389,023	689,745	7,078,768	—	7,078,768
セグメント利益又は損失(△)	22,875	△52,219	△29,343	—	△29,343

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,064,718	802,846	5,867,565	—	5,867,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,064,718	802,846	5,867,565	—	5,867,565
セグメント損失(△)	△27,384	△34,506	△61,890	—	△61,890

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。